

第33回 富山市都市交通協議会 議事録

【日 時】 令和3年3月26日（金） 14:00～15:00

【場 所】 富山市役所東館8階 大会議室

【次 第】 1 開 会

2 会長挨拶

3 報 告

富山市地域公共交通網形成計画に係る令和3年度実施事業

4 議 事

(1) 富山市地域公共交通網形成計画の修正

(2) 富山市都市交通協議会運営要綱の一部改正

5 その他

6 閉 会

【出席者】 委員12名（敬称略）

所 属	職 名	氏 名	備 考
富山市	副市長	三浦 良平	(会長)
福井大学	名誉教授	川上 洋司	
富山商工会議所	専務理事	西岡 秀次	(代理出席) 理事・中小企業相談所長 西野 政行
西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社	副支社長	森下 智文	
富山地方鉄道株式会社	代表取締役社長	辻川 徹	
あいの風とやま鉄道株式会社	代表取締役社長	日吉 敏幸	(代理出席) 常務取締役・運輸部長 高野 修
株式会社富山市民プラザ	専務取締役	京田 憲明	
国土交通省 北陸信越運輸局 富山運輸支局	支局長	広瀬 道弘	
国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所	所 長	石井 宏幸	(代理出席) 事業対策官 折橋 一禎
富山県 観光・交通振興局 総合交通政策室	室 長	田中 達也	
富山県 土木部	次 長	市井 昌彦	(代理出席) 都市計画課 主幹 川上 孝裕
富山県警察本部 交通部 交通規制課	課 長	水名 建	(代理出席) 規制補佐 水口 敬英

【議事録】

○会長挨拶（三浦会長挨拶）

○報告 富山市地域公共交通網形成計画に係る令和3年度実施事業
事務局（資料1説明）

三浦会長 グリーンスローモビリティについて、令和3年度は4月のいつから開始するのか。

事務局 令和3年度は、4月10日からの運行を予定している。

○議事1 富山市地域公共交通網形成計画の修正

○議事2 富山市都市交通協議会運営要綱の一部改正
事務局（資料2、3説明）

（質疑応答）

川上委員（福井大学）

議事1について、上位計画だけでなく、環境や観光、歩くまちづくりのような福祉に関連する政策との体系が明確になっている公共交通の活性化計画であり、新しい地域公共交通再生活活性化法のもとでも、今回の修正で加えられたMaaSなどによって移動資源を活かすことについても十分対応できる形の修正になったと思われる。

新規事業である企業向けモビリティ・マネジメントについて、福井での経験から考えると、商工会議所と連携して通勤定期を増やすことで公共交通の利用増加につながると思われ、可能であれば商工会議所との協力体制を進めていけば、より効果的になると思われる。実際、福井のえちぜん鉄道の報告によると、今年1月の通勤定期だけではあるがコロナ禍にもかかわらず対前年比で若干増えている。通勤定期は、一人が購入すると最低でも週に10回以上は公共交通を利用すると考えられ、公共交通の利用促進に効果的である。

事務局 企業向けモビリティ・マネジメントについて、これまでも事業者と協力しながら取り組んでおり、それなりの成果が出てきていると考えている。しかし、市民アンケートにより実態を調査すると自動車分担率がかなり高い状態が続いており、公共交通利用は1割程度となっている。ソフト事業としてお出かけ定期券があり、中心市街地などでの乗降で公共交通の利用が100円になるという事業があり、日中の時間帯の公共交

通利用は増加してきていると考えられるが、通勤時間帯での公共交通利用が大きな課題となっている。川上委員からの貴重なアドバイスを活かし、商工会議所と話し合いをさせていただき、どのような進め方がいいのか、公共交通を利用しやすい企業はどこなのか等、関係者各位と相談しながら進めていきたい。

川上委員（福井大学）

事業所の場所や住んでいる場所により公共交通の利用数は変わるため、通勤定期に関して、OD 調査などにより公共交通が利用できる範囲を把握したり、公共交通を利用しやすいような P&R 駐車場を整備していくと、潜在的な公共交通利用が増えていくと思われる。企業モビリティ・マネジメントについては、地道に進めていくことで将来的に安定した公共交通利用が確保できるのではないか。

田中委員（富山県 観光・交通振興局総合交通政策室）

資料 3 の運営要綱について、「富山県観光・交通振興局」は令和 3 年 4 月 1 日より「富山県地方創生局」に変更となるため、今回の改正に合わせて修正していただきたい。

また、新型コロナウイルスにより公共交通の利用にかなり影響が出ているが、令和 3 年度に新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金による財源で行う事業があればご教示願いたい。

事務局

要綱についてはご指摘のとおり、修正させていただく。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の対象事業について、令和 3 年度事業においては、婦中地域自主運行バスの車両更新を予定している。令和 2 年度事業においては、補正対応で約 3 億 9 9 0 0 万円ほど公共交通事業者への支援をさせていただくこととしている。具体的な内容として、公共交通の運行を維持していただいた事業者への運行経費の支援や、感染防止対策に対する支援をさせていただき、また、タクシー事業者については、タクシーの維持管理経費として 1 台あたり 5 万円程度の支援をさせていただいている。

田中委員（富山県 観光・交通振興局総合交通政策室）

富山県についても、富山市が行っているような内容の支援を当初予算の中に盛り込んでいる。まだ厳しい状況の中にあるため、富山市の方でも引き続きご支援いただければと思う。

事務局 令和3年度の公共交通事業者への支援については、ご意見の通り、まだ厳しい状況の中にあると認識しており、今後の状況も見ながら、できる限り県と連携した支援を検討してまいりたいと考えている。

三浦会長 ただいまの議事1、議事2については、他にご意見がないため、富山県総合交通政策室の所属機関変更の修正を含め承認してよろしいか。

【異議なし】

○各交通事業者からのコメント

辻川委員（富山地方鉄道株式会社）

令和2年度は南北接続もあったが、コロナウイルスの影響で巨額の損失が出るという大変厳しい状況となってしまった。生活交通である鉄軌道やバスでは、収入ベースで昨年の80～90%となっており、昨年の4月や5月と比べると若干回復してきたように思われる。生活交通を支えていた観光貸切バスなどでは、低迷したままの状況である。徐々にワクチン接種が浸透してこれから状況が変化していけばと思う。その間、国などの支援の活用やコスト削減を実施しながら、生活交通を支えていきたいと考えており、引き続き令和3年度にもご支援をお願いしたい。

また、まちなかの活力を高めるためにも、賑わいづくりにも努めながら公共交通を利用していただけるよう、会社としても協力していきたいと考えている。

森下委員（西日本旅客鉄道株式会社金沢支社）

北陸新幹線については令和2年度は開業6年目だが、前年比で35%の利用となっている。直近ではコロナウイルスが広がり始めていた1年前と比べると9割程度、一昨年と比べると4割程度といった利用状況であり、回復にはもう少し時間がかかると思われる。また、新しい生活様式による影響により、通勤通学も含めて完全に回復することは難しいのではないかと考えられる。このような状況の中で、当計画も含め、引き続き皆様のご協力をいただきながら、公共交通の維持活性化に努めていきたい。

日吉委員（代理：高野常務取締役・運輸部長）

あいの風とやま鉄道においては3月28日（日）に東富山駅東口が供用を開始する。東口は無人改札となっているが、正面には劔岳を望むことができ、大変美しい駅になっている。先ほど川上委員のご意見にもあったP&R駐車場については、月極で18台分の駐車場設置を予定してい

る。駐車場については、4月1日からで有料の利用ではあるが、ぜひご利用いただきたい。

鉄道の利用状況については、直近の2月では、定期外で前年度比約35%減となっており、定期では約15%の減少となっている。通年で見ると、令和2年度は全体で約25%減のご利用となるだろうと考えている。交通事業者の皆様のご意見の通り、今年だけで元のご利用に戻すまでには至らないと考えられるが、引き続き皆様のご協力をいただきながら運行していきたいと考えている。

3月13日にはダイヤ改正を行い、学生が休み期間であることからまだご利用状況は不明ではあるが、通勤通学時間帯の増車を行っており、東富山駅ご利用への対応や、密を避けるための対応を行っている。

新駅の「新富山口駅」についても、順調に計画が進んでいるという状況である。

呉羽駅北口改札については、今年の夏頃の着工を目指し、皆様のご協力を賜りながら進めていきたい。

京田委員（株式会社富山市民プラザ）

自主運行バスの事業者の代表という立場で参加しているので、その観点から発言する。まちなかを循環する地域自主運行バスとしてまいどはやバスを「中央ルート」、「清水町ルート」の2ルートで運行していたが、コロナ禍により大幅に利用者が減少し、市からの補助をいただいても厳しい状況であった。近年右肩下がりに利用者が減少していたため、4月1日からルートを大幅に見直し、2ルートを1ルートとし、両回りを走るルートとした。また、料金が100円であったものを200円へと変更する。今後どのような利用となるのか注視していきたい。弊社の場合は、まいどはやバス以外にも事業を行っており、赤字が出て他の事業で補填が可能ではあるが、他の地域自主運行バスについては、バスのみで運営している場合が多いため、今年度はかなり厳しい状況であったと考えられる。そのため、地域自主運行バスについても同様に市役所のご支援をいただければと思う。

（閉 会）